

第5回上田市花と緑のまちづくりコンクール審査結果

平成19年に始まった本コンクールも、平成23年で5回目の開催となりました。第4回目同様、団体部門（50平方メートル未満・プランターの部、50平方メートル以上の部）、個人部門、学校部門の4部門で審査が行なわれました。第5回は全部で46件の応募があり、平成23年8月26日に一次審査（書類審査）、9月8日に二次審査（現地審査）を行い、11団体（個人含む）が受賞されました。

団体部門(50平方メートル未満・プランターの部)

◆最優秀賞

富士見台みどりの仲間（上野）



全ての花が生き生きと元気でボリュームもあり、花壇として統一感もあります。花の組合せも良く、またピンクのペチュニアがアクセントとなって、見映えがする花壇です。

◆優秀賞

荻窪ビーンズの会（東内）



赤と白の日々草の組合せが、ラインもきれいにできてとても鮮やかです。草丈も揃っており、とても管理の行き届いた花壇です。

◆奨励賞

大畑自治会花づくり推進部（本原）



花の種類も豊富で、それぞれの特徴を生かした色合い・デザインとなっています。花がら摘みや草取りを丁寧に行うなど、とてもきれいな花壇です。

団体部門(50平方メートル以上の部)

◆最優秀賞

下本郷地区花と緑の街づくり協議会（本郷）



長い距離の花壇ですが、生育も良く景観とも調和しています。配置を工夫し配色に変化をつけることによって、立体感のある花壇となっています。

◆奨励賞

藤原田花と緑の会（藤原田）



長い区間を多くの方々の手によってきれいに管理されています。サルビアや百日草の生育も良く、色合いも豊富な花壇です。

◆優秀賞

しなの木会・上沢子供会（国分）



周りに配置されたペチュニアの丈を低く抑えることで、立体的なデザインとなっています。シンボルの「しなの木」とも調和し、さわやかな雰囲気してくれる花壇です。

個人部門

◆最優秀賞

中島 明 邸（御所）



花の種類を毎年少しずつ変えながら、配置なども工夫しています。紫や青系の花が中心ですが、木々の緑とのバランスも良く、落ち着いた雰囲気となっています。

◆優秀賞

和田 幸雄 邸（本郷）



プランターや花壇と背景の樹木の配置が、立体感と奥行きを感じさせます。マリーゴールドなどの花とともに多くの葉ケイトウを取り入れており、春から秋まで楽しませてくれます。

◆奨励賞

黒澤 朝男 邸（本郷）



棚や額縁型の鉢置き場、鳥かごを利用したつり鉢など、花のみせ方を工夫しています。花の種類も豊富で、そのほとんどが種から育てられており、花への愛情が感じられます。

学校部門

◆最優秀賞

塩川小学校（塩川）



どの花壇も土づくりがしっかりしていて、花本来のボリュームや色が出ています。デザインが工夫され、管理の状況、生育も良好で、学校全体で花づくりに取り組んでいる様子がわかります。

◆奨励賞

第五中学校（上野）



円形の花壇に植物の高さの違いを生かした配置となっています。コンパクトにまとまっていますが、個々の花はボリュームもあり、生育も良好で、上から見ると「五中」の文字もよく現れています。